



S.Sakaguchi

## ジャパン・オータムインターナショナル ロンジン賞

## THE JAPAN CUP 第45回 ジャパンカップ (GI)(国際招待)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 500,000,000円	200,000,000円	130,000,000円	75,000,000円	50,000,000円
付加賞 3,780,000円	1,080,000円	540,000円		

レース映像は  
コチラでご覧  
いただけます。

3歳以上、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 3歳56kg、4歳以上58kg、牝馬2kg減

2025.11.30 東京 晴・良 芝2400m (国際) (指定)

種	馬番	馬名	性	年	斤量	騎手	タイム	コーナー	上り	馬体重	単勝	調教師	レーティング
							(着差)	通過順位	(600m)	(増減)	オッズ		
1	⑧	カランドガン	駆	4	58	M.Jルゴナ	R2:20.311-11-10-11	33.2	456(=)	6.2(4)	F.グラファール(仏国)	130	
2	⑯	マスカレードボルト	牡	3	56	C.ルメール	アタマ	10-8-9-9	33.4	470(±0)	2.5(1)	手塚貴久(美浦)	129
3	⑭	ダノンデサイル	牡	4	58	戸崎圭太	2½	8-8-10-9	33.8	508(=)	5.0(3)	安田翔伍(栗東)	125
4	②	クロワデュノール	牡	3	56	北村友一	1	4-4-4-5	34.4	512(=)	4.6(2)	斎藤崇史(栗東)	123
5	①	ジャステインパレス	牡	6	58	C.デルロ	クビ	11-12-13-13	33.5	470(±0)	12.2(5)	杉山晴紀(栗東)	122
6	⑬	フレイディヴェーグ	牝	5	56	T.マカド	½	15-15-16-16	33.4	474(±0)	41.5(9)	宮田敬介(美浦)	117
7	⑯	タスティエーラ	牡	5	58	D.レーン	½	6-6-7-6	34.4	502(=)	17.4(6)	堀 宣行(美浦)	120
8	⑯	シンエンペラー	牡	4	58	坂井瑠星	1¾	4-5-6-6	34.7	498(=)	28.9(7)	矢作芳人(栗東)	117
9	③	コスモキュンダ	牡	4	58	丹内祐次	3	6-6-4-3	35.6	522(=)	34.9(3)	加藤士津八(美浦)	113
10	⑩	シュトルーヴェ	駆	6	58	菅原明良	1¾	15-15-15-13	34.9	478(=)	442.0(7)	堀 宣行(美浦)	110
11	④	ディーブモンスター	牡	7	58	松山弘平	%	8-10-7-6	35.6	470(+4)	72.4(1)	池江泰寿(栗東)	109
12	⑨	セイウンハーテス	牡	6	58	津村明秀	2	1-1-1-1	36.9	472(±0)	162.1(3)	橋口慎介(栗東)	106
13	⑦	ダノンバルーガ	牡	6	58	佐々木大輔	アタマ	13-13-10-11	35.5	498(=)	274.2(0)	堀 宣行(美浦)	106
14	⑫	ヨーホーレイク	牡	7	58	岩田望來	½	13-13-13-13	35.4	522(=)	159.8(0)	友道康夫(栗東)	105
15	⑤	サンライズアース	牡	4	58	池添謙一	½	3-3-3-3	36.7	530(=)	33.4(8)	石坂公一(栗東)	102
16	⑥	ホウオウビスケツ	牡	5	58	岩田康誠	5	2-2-2-2	37.7	502(=)	166.8(0)	奥村 武(美浦)	95
中止	⑪	アドマイヤテラ	牡	4	58	川田将雅			494(=)	46.1(0)	友道康夫(栗東)		
頭	⑰	ドゥレッツア	牡	5	58	A.ブーション					尾関知人(美浦)		

単勝①620円(4%)\* 複勝②210円(4%)\* ⑯120円(1%)\* ⑭180円(3%)\* 枠連④-⑦740円(4%)\*

馬連①⑯1,180円(3%)\* ワイド⑧-⑯520円(4%)\* ⑥-⑯740円(9%)\* ⑩-⑯320円(2%)\*

馬単⑧-⑯2,370円(8%)\* 3連複⑧-⑯1,930円(3%)\* 3連単⑧-⑯11,070円(25%)\*

5重複⑦⑯2,370円(14票) 対象競走: 東京10R/京都10R/東京11R/京都11R/東京12R



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m  
34.5 - 46.0 - 57.6 46.9 - 34.6

## アラカルト

- M.バルザローナ騎手はジャパンC初勝利。JRA重賞は内で制した16年京阪杯に続く通算4勝目
- F.グラファール調教師はJRA重賞初勝利
- Gleneagles産駒はJRA重賞通算2勝目
- 外国調教馬の勝利は05年アルカセット以来、通算15回目
- 勝ちタイム2:20.3は18年ジャパンCでアーモンドアイが記録した2:20.6を更新する3歳以上芝2400mのJRAレコードおよびコースレコード
- ドゥレッツアは疾病(左前肢跛行)のため出走取消
- アドマイヤテラは発走直後につまずき、騎手が落馬したため競走中止
- 非抽選馬 1頭(サンストックトン)

# 外カランダガンIRE Calandagan

父 鹿毛 2021.1.27生

アイルランド Haras De S.A. Aga Khan Scea生産

馬主・アガ・カーン・スタッズ フランス・F.グラファール厩舎  
馬名意味・フィリピン島の名前より

F16-b

Gleneagles 鹿毛 2012	Galileo 鹿毛 1998	Sadler's Wells
	Urban Sea	
	You're so thrilling 黒鹿毛 2005	Storm Cat
Calayana 鹿毛 2014	Mariah's Storm	
	Sinndar 鹿毛 1997	Grand Lodge
	Clariyn 鹿毛 2009	Sinntara
		Acclamation
		Clodovina

5代までのインブリード: Northern Dancer S 4×S 5

## INTERVIEW

F.グラファール 調教師

### 本当に素晴らしい一日でした

輸送もうまくいき、良い状態で来日できました。眞のチャンピオンとしてその走りを示してくれたと思います。レース展開も私が描いていたとおりでした。カランダガンはとてもバランスの取れた馬だと思います。身体的にもチャンピオンとしての属性を充分に有しています。今日は勝利を挙げることができ、私たちも大変楽しむことができ、本当に素晴らしい一日でした。



H. Yamanaka

### 父グレンイーグルス Gleneagles

アイルランド産 愛・英・仏、北米11戦7勝(英2000ギニーG1、愛2000ギニーG1、セントジョームズパレスS・英G1、ヴィンセントオブライエンナショナルS・愛G1、フェューチュリティS・愛G2、タロスS・愛G3、ジャニリュックラガルデール賞・仏G1等)、全欧2歳牡馬チャンピオン、16年から愛で供用

[代表産駒] **カランダガン** Calandagan(本馬)、**ミルストリーム** Mill Stream(ジュライC・英G1)、**ラヴィングドリーム** Loving Dream(ロワイヤリュー賞・仏G1)、**ハイランドチーフ** Highland Chief(マンノウォーソ・米G1)、**アロー**

**イーグル** Arrow Eagle(ロワイヤルオーク賞・仏G1)、**パラティウム** Palladium(独ダービーG1)、**ノヴェンバ** Novembra(独1000ギニーG2)、**シャヴァーサナ**

**IRE**(伊オータスG2)、**ロイヤルスコットマン** Royal Scotsman(リッチモンドS・英G2)、**インシュニエンドゥIRE**(キルボーエステートS・愛G2)、**ヴェロ**

**アトレタ** Vero Atleta(イグランクリテリウムG2)、他に重賞勝ち馬多数

### 母カラヤナ Calayana

フランス産 仏6戦2勝(ミネルヴ賞G3着)

カリイザ Caliyza(20 牝父Le Havre)仏、英7戦2勝

**カランダガン** Calandagan 本馬 (21 父Gleneagles)中央1戦1勝(ジャ

パンC G1)、英、仏、首13戦7勝(キングジョージVI世&クイーンエリザベスS・英G1、英チャンピオンS G1、サンクルーダ賞・仏G1、キングエドワードVII世S・英G2、オカール賞・仏G3、ノアイユ賞・仏G3、英チャンピオンS G12着、英インターナショナルS G12着、コロネーションC・英G12着、ドバイシーマクラシック・首G12着)、全欧年度代表馬獲得総賞金1,230,680,000円

**カラマンドラ** Calamandra(22 牝父New Bay)仏6戦1勝(ベルドニュイユ賞G3着、ジュペール賞・L3着)

**カラシタ** Calasita(23 牝父Zarak)仏1戦0勝

(24 牝父Palace Pier)

### 祖母クラリイン Clariyn

フランス産 仏1勝

**カラヤナ** Calayana(14 前出)

**クライド** Clyde(20 牝父Territories)ポーランド4勝 ポーランド2歳牡馬チャンピオン

### 曾祖母クロドヴィナ Clodovina

アイルランド産 仏1勝(イソラベラ賞・仏L2着)、**カンダル** Cannadal(ベルモントダービー招待S・米G12着)の母

# 「世界一の脚力」を披露した王者が制覇

外国馬の勝利は2005年のアルカセット(イギリス)が最後。近年は日本馬の上位独占が続いているジャパンCの歴史に新たな一頁が刻まれた。1番人気に支持された秋の天皇賞の覇者マスカレードボールとの一騎打ちを制し、スカレードボールとの一騎打ちを制し、JRAレコード(2分20秒3)も樹立して勝利を飾ったのは、フランスからやって来た唯一の外国馬カランダガン。欧洲の年度代表馬にも選出された4歳駆馬が、20年ぶりに重たい扉を開いた。スタート直後に躊躇、騎手が落馬したアドマイヤテラが競走を中止。波乱含みの幕開けとなつたレースは勢いよく飛び出したセイウンハーデスが先導役を務め、予想外のハイペース、縦に

長い隊列で進んだ。2番人気に支持された3歳のダービー馬クロワデュノルは先頭から6、7馬身離れた4番手を追走。マスカレードボールは中団、4歳のダービー馬ダノンデサイルが直後に続き、カランダガンのM・バルザローナ騎手も2頭の背後でじっくりとローナ騎手も2頭の背後でじっくりと勝利を飾ったのは、フランスからやって来た唯一の外国馬カランダガン。

一時は後続に9馬身ほどのリードをつけたセイウンハーデスは直線の坂で失速。かわってクロワデュノルが先頭に立つのも束の間、その後から目を見張る勢いで伸びてきただがマスカレードボールとカランダガンだった。併せ馬の形で激しく火花を散らした2頭。日本の若き天皇賞馬もよく食い下がつたものの、息詰まる攻防の重配はカランダガンにあがつた。

3歳時から高い素質の片鱗を示していた本馬は4歳を迎えて本格化。始動戦のドバイシーマクラシックはダノンデザイユの2着、続くコロネーションCも2着に敗れたが、サンクルーダ賞、ギングジヨージ、英チャンピオンSとG1・3連勝を飾り、世界ランキング1位の評価を獲得した。駆馬凱旋門賞に出走できない)という背景に加え、馬場適性も考慮したうえで、早くからジャパンCを目標に定めた陣営の見立て通り、この日は「世界一の脚力」をまさまさとアピール。強烈なインパクトを刻んだ王者の走りは、末永く語り

長い隊列で進んだ。2番人間に支持された3歳のダービー馬クロワデュノルは先頭から6、7馬身離れた4番手を追走。マスカレードボールは中団、4歳のダービー馬ダノンデサイルが直後に続き、カランダガンのM・バルザローナ騎手も2頭の背後でじっくりと勝利を飾ったのは、フランスからやって来た唯一の外国馬カランダガン。

一時は後続に9馬身ほどのリードをつけたセイウンハーデスは直線の坂で失速。かわってクロワデュノルが先頭に立つのも束の間、その後から目を見張る勢いで伸びてきただがマスカレードボールとカランダガンだった。併せ馬の形で激しく火花を散らした2頭。日本の若き天皇賞馬もよく食い下がつたものの、息詰まる攻防の重配はカランダガンにあがつた。

3歳時から高い素質の片鱗を示していた本馬は4歳を迎えて本格化。始動戦のドバイシーマクラシックはダノンデザイユの2着、続くコロネーションCも2着に敗れたが、サンクルーダ賞、ギングジヨージ、英チャンピオンSとG1・3連勝を飾り、世界ランキン

グ1位の評価を獲得した。駆馬凱旋門賞に出走できない)という背景に加え、馬場適性も考慮したうえで、早くからジャパンCを目標に定めた陣営の見立て通り、この日は「世界一の脚力」をまさまさとアピール。強烈なインパクトを刻んだ王者の走りは、末永く語り